

## 大韓数学会からの数学研究者・大学院生へのオフィススペース提供について

大韓数学会 (KMS) から大韓民国の高等教育研究機関におけるオフィススペースの提供の申し出を頂きました。これは東北地方太平洋沖地震の影響（放射能等からの避難を含む）で研究室の場所の確保を必要とする、数学・数理科学研究者（ポスドク・大学院生を含む）への支援です。日本数学会から大韓数学会を通じて相手の機関への連絡をとることにしております。以下のものを英文でお書きいただき [president\(at\)mathsoc.jp](mailto:president(at)mathsoc.jp) へお送りください。随時 KMS に連絡します。

簡単な履歴書（所属、専門分野）

応募理由と希望滞在先、滞在期間

研究業績書または主要論文リスト

所属する専攻等の教育研究組織の長の推薦書あるいは承諾書（和文でも良い）

提供を申し出て頂いたオフィススペースは

KAIST(Korea Advanced Institute of Science and Technology), Postech(Pohang University of Science and Technology), Yonsei University, KIAS(Korea Institute for Advanced Study), NIMS(National Institute of Mathematical Sciences), Inha University, Chungbuk National University, Seoul National University, Pusan National University, Konkuk University, Sungkyunkwan University などです。

相手の機関からではなく、研究費から滞在費等を支給したいという研究者の方も多いということですので、滞在費の支給については相談可能です。ポスドク・大学院生の場合、渡航費を別途支給できる可能性もありますので、必要な方は数学会にご連絡ください。詳細は日本数学会のホームページ

<http://mathsoc.jp/support2011/index.html>

をご覧ください。大韓民国の数学者コミュニティからの暖かい支援に感謝します。

## Overwolfach 数学研究所と京都大学数理解析研究からのサポート提供について

震災後まもなく Overwolfach 数学研究所より坪井前理事長に連絡があり、3名までの研究室を被災地の研究者に提供するとの申し出がありました。現在、東北大学からのべ5名の希望者があり、7月2日まではすでに3名の枠が埋まっています。

また京都大学数理解析研究所からは、震災等で開催が困難になった研究集会のサポートを検討するとの申し出がありました。詳しくは、数理解析研究所のウェブサイト

<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/kenkyubu/shukai.htm>

をご覧ください。Overwolfach 研究所および数理解析研究所からの暖かいお申し出に感謝いたします。

（理事長 記）